

エコアクション21

# 環境活動レポート

【期間：2013年7月1日～2014年6月30日】



作成日 2014年11月29日

KANTO-KENSETSU CORPORATION

 関東建設工業株式会社

1. 事業活動の概要
2. 環境方針
3. エコアクション21 推進組織図
4. 環境目標とその実績
5. 環境活動計画の取組みと評価
6. 環境関連法規制の遵守
7. 代表者による全体評価と見直しの結果

# 1. 事業活動の概要

## 1. 事業所及び代表者名

関東建設工業株式会社  
代表取締役社長 中島 直樹

## 2. 所在地

〒379-0132 群馬県安中市別当347番地1

## 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 中島 直樹  
環境管理責任者 : 取締役 専務 中島 仲雄  
担当 : E A 2 1 事務局 湯本 恵子  
TEL : 027-382-2711  
FAX : 027-382-2713

## 4. 対象範囲

関東建設工業株式会社 全組織及び全活動

## 5. 事業の内容

建設業

## 6. 事業規模

資本金 3,500万円  
総従業員数 20名  
売上高 29億3,100万円  
本社延床面積 575.96㎡

## 2. 環境方針

### 〔基本理念〕

関東建設工業株式会社は地域社会の貢献に努め、豊かな自然環境を未来の人々のために守るため、自然環境保全活動を通じて地球環境に配慮した事業活動に努めます。

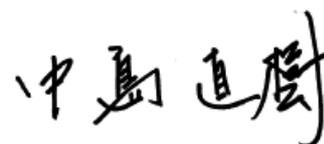
### 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下の主な活動項目に取り組めます。

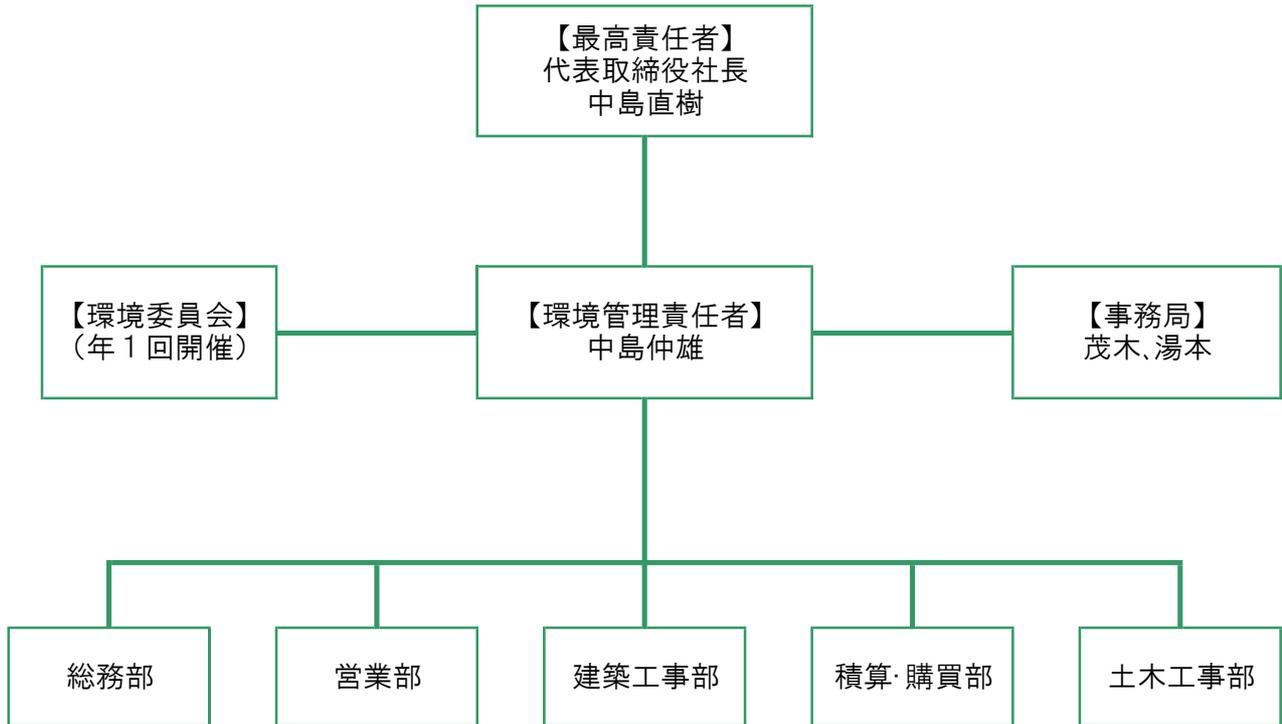
1. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。（化石燃料の削減、電気使用量の削減）
2. 水資源を守るため、節水に努めます。
3. 廃棄物の分別の徹底及びリサイクルを推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。
4. グリーン購入の促進に努めます。
5. 地域清掃活動、除雪等の社会貢献活動を通じて地域の環境保全に努めます。
6. 環境に関わる法律、規則、条例を遵守します。
7. この環境方針を全ての従業員に周知し、その意義を理解して環境保全におけるそれぞれの責任を果たすものとすると共に社外にも開示する。

2014年 7月 1日

関東建設工業株式会社  
代表取締役社長



### 3. エコアクション21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 中島 直樹】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【中島 仲雄】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【茂木、湯本】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

## 4. 環境目標とその実績

当社に於ける2013年度(2013/7/1～2014/6/30)の環境負荷実績を把握し、  
2014年度～2016年度迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

\*2014年の実績は、2014年7月～10月の4ヶ月のデータです。

環境目標	基準値	今年度目標		目標達成 良・否	3年後の目標
	2013年	2014年(2014.7.1～10.31まで)			2016年
	実績	目標	実績		目標
1. 電力使用量の削減	28,074 kwh/年	基準値から 1%削減 9,264 kwh/4ヶ月	10,837 kwh/4ヶ月	×	2013年実績に 対して3%削減
2. A重油使用量の削減	4,200 ℓ/年	基準値から 1%削減 1,386 ℓ/4ヶ月	- ℓ/4ヶ月	※冬期のみ使用の ため計測不可	2013年実績に 対して3%削減
3. 灯油使用量の削減	2,725 ℓ/年	基準値から 1%削減 899 ℓ/4ヶ月	551 ℓ/4ヶ月	○	2013年実績に 対して3%削減
4. ガソリン使用量の削減	23,717 ℓ/年	基準値から 1%削減 7827 ℓ/4ヶ月	6,816 ℓ/4ヶ月	○	2013年実績に 対して3%削減
5. 軽油使用量の削減	1,142 ℓ/年	基準値から 1%削減 377 ℓ/4ヶ月	380 ℓ/4ヶ月	×	2013年実績に 対して3%削減
6. 二酸化炭素排出量の削減	90,926 kg-CO <sub>2</sub> /年 31.02 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	基準値から 1%削減 30,006 kg-CO <sub>2</sub> /4ヶ月 30.71 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	23,870 kg-CO <sub>2</sub> /4ヶ月 124.97 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	○	2013年実績に 対して3%削減
7. 廃棄物排出量の削減	2592kg	基準値から 1%削減 855.3kg/4ヶ月	350.09 kg/4ヶ月	○	2013年実績に 対して3%削減
8. 水資源投入量の削減	139m <sup>3</sup>	基準値から 1%削減 45.87m <sup>3</sup> /4ヶ月	71 m <sup>3</sup> /4ヶ月	×	2013年実績に 対して3%削減
9. グリーン購入の促進	—	現状の把握	現状把握ができた	○	購入品リストによる グリーン購入の 徹底
10. 化学物質取扱及び管理の徹底	—	管理の徹底 取扱量の把握	取扱量の把握ができた	○	管理の徹底
11. 本業に関する目標	—	工事現場の整理整頓	工事現場の整理整頓ができた	○	社会貢献活動の推 進

\*購入電力の排出係数は、0.525〔平成25年東京電力株式会社〕を使用しています。

## 5. 環境活動計画の取組みと評価

\*2014年7月～10月の4ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

○：実施でき、効果が期待できる  
 △：実施予定、効果が期待できる  
 ×：未実施、効果が出ていない

環境活動計画	評価結果	環境活動計画の取組結果とその評価と次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減		
1. 電力使用量の削減 照明・PC電源不要時のOFFの推進 電力量の集計	△ ○	毎月の電力使用量の集計をして、現状を把握することができた。 今後も引き続き、省エネの周知を徹底し、社内・現場事務所で節電等のポスターの掲示やステッカー等による、電気使用量の削減に努める。
2. A重油使用量の削減 空調温度適正化・表示 エアコン清掃の実施	△ ○	A重油使用量“0”となった理由としては、冬季暖房使用時にボイラーの燃料として使用しているため、7月～10月の4ヶ月は未使用である。 今後は暖房使用に際しては、湿度の適正化と不在時、帰宅時の電源のオフを徹底し、目標達成したい。
3. ガソリン使用量の削減 エコドライブ推進 社用車の点検・整備 ガソリン量の集計	○ △ ○	毎月のガソリン使用量の集計をして、現状を把握することができた。 本年度は、社員数が増えたのでガソリンの使用量も増加傾向にある。一人一人の一層のエコドライブの意識強化が必要である。 遠方の現場へ行く場合はなるべく乗り合わせを励行したり、500m以内は、自動車の使用は控えるなど社員ひとりひとりの努力で目標を達成したい。
4. 廃棄物排出量の削減 分別ルールの徹底 廃棄物置場の整備 廃棄物排出量の集計 裏紙使用ルールの徹底	△ △ ○ △	今年度は、7月～10月の4ヶ月なので廃棄物量が少ないが、年間算出しても、大幅に減少された。この分できくと、環境目標を達成できそうなので引き続き、気を緩めることなく目標達成に向けて活動を行っていききたい。 廃棄物置場の整備が進んでいないため、継続的に整備を進め廃棄物の分別が容易に出来るようにしていきたい。
5. 水資源投入量の削減 2ヶ月毎のメータ確認 節水表示 トイレの節水	○ ○ ○	7月～10月は夏季の冷房使用に伴うクーリングタワーの補給水により前半の使用量の割合が多くなっている。また、トイレは節水型に変更したため今後節水に期待できる。 今後は冷房使用に際しては、不在時、帰宅時の電源のオフを徹底し、節水を心がけ目標を達成したい。
6. グリーン購入比率の向上 購入品の調査 グリーン購入品の選定 グリーン購入品の決定	○ ○ ○	グリーン購入品の調査を行い、今後の選定・購入を行うことができた。 今後も引き続き、グリーン購入品の選定・購入を行っていききたい。
7. 化学物質取扱及び管理の徹底 取扱商品の把握 購入量の把握 MSDSの入手	○ ○ ○	取扱商品の把握ができた 今後は工事作業現場も見据え化学物質の使用・保管状況を関連部署と協力して適切な管理を構築していきたい。
8. 本業に関する目標 環境配慮工法の検討 再生資材の利用 工事現場の整理整頓 社会貢献活動の推進	○ ○ ○ ○	本社周辺の定期的な清掃活動及び現場の定期的な整理整頓ができた。 某会社にて、省エネ対策として、弊社の提案した断熱塗料を採用してもらった。 本年度は、公道を走行できるペイローダーを購入したので、除雪作業範囲が大幅に広げられる。 本社周辺のみならず現場周辺でも、引き続き積極的に取組み実践していきたい。

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
浄化槽法	定期点検及び水質検査、法改正の確認	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
PCB廃棄物特別措置法	法改正の確認	遵法
労働安全衛生法	安全衛生委員会の開催及び議事録の保管、法改正の確認	遵法
消防法	消防設備の定期点検、取扱危険物の品目・数量の変更確認	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2014年10月20日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21認証に向けて、平成26年7月よりエコアクション21の運用を開始しました。建設業という業種から、工事実績が年度の後半に集中することもあり、環境目標の数値については、現段階では不確定的な要素が多分にありますが、社員ひとりひとりが環境目標に向かって、省エネ化、省資源化を意識し活動するようになったことは大変意義あることだと思います。

まだ、スタートをきったばかりですが、今まで、「省エネ」や「節水」に対して漠然とした目標概念と捉えがちでありましたが、実際に具体的な数字として捉えることで、身近で切実な課題としてみるができるようになりました。これからは、分析結果を踏まえて、環境目標が達成できるよう、社員ひとりひとりが本活動に取り組み実践していきたいと思えます。